殺菌剤
金属銀水和剤

シードラック®水和剤

農林水産省登録　第２１８７９号
性状：類白色水和性粉末 ４５μm以下
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物：非該当
有効年限：４年
包装：５００ｇ

有効成分：銀・・・・・２０.０％

殺菌剤分類　―

シードラック®はサンケイ化学（株）の登録商標です。

特長

○銀を有効成分とした殺菌剤（種子消毒剤）です。
○本剤のみで主要な水稲種子伝染性病害及びイネシンガレセンチュウの防除が可能です。
○もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病などの細菌病に対し、特に高い効果があります。
○麦類の黒節病に対して優れた効果を示します。
○人畜に対する安全性の高い製剤です。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	金属銀を含む農薬の総使用回数
稲	ばか苗病 いもち病 ごま葉枯病 イネシンガレセンチュウ	４００倍	―	浸種前	１回	２４時間種子浸漬	１回
	もみ枯細菌病 苗立枯細菌病 褐条病	４００～ ８００倍					
麦類	なまぐさ黒穂病（小麦） 黒節病 斑葉病（大麦）	乾燥種子重量の 0.5～1.0％	―	は種前	１回	種子粉衣（湿粉衣）	１回
		２０倍				１０分間種子浸漬	
		6倍	乾燥種子１ｋｇ当り希釈液３０ｍℓ			塗沫処理	
	網斑病（大麦）	乾燥種子重量の 1.0％	―			種子粉衣（湿粉衣）	
ばれいしょ	そうか病	１０００倍	―	植付前	１回	５～１０秒間 種いも浸漬	

使用上の注意事項

●調製した薬液は、調製当日に使用してください。
●稲の種子消毒に使用する場合は下記の事項に注意してください。
①種子消毒は浸種前に行い、消毒後は水洗いせずに浸種してください。
②浸漬処理の場合、薬液の温度は極端な低温をさけてください。
③浸漬処理の場合、薬液と籾の容量比は１：１以上とし、種籾はサラン網などの目のあらい袋を用い、薬液処理時によくゆすってください。
④浸種時の浴比は１：２とし、停滞水中で行ってください。水の交換は水温が高い場合など酸素不足になるおそれがあるときは静かに換水してください。
⑤本剤処理の場合は以下の点に十分注意してください。
○通常栽培の積算温度は適さず、浸種期間がやや短くなる傾向があるので浸種中は種子の状況を必ず確認してください。
○催芽においては、やや早めに芽が出る傾向があるので、必ず催芽状況を確認し、必要以上に催芽時間をかけないように心がけてください。
○出芽の初期においては、出芽遅延等になる傾向がありますが、その後回復するので通常の管理を維持してください。
⑥処理により根上がりが発生しやすくなるので、以下の点を守ってください。
○播種量については種子が重ならないように均一に播種（うす播き）してください。
○播種時には十分に灌水し、覆土を十分にかつムラが無いように均一にしてください。
○軽量培土は根上がりを助長させるので使用をさけてください。
○加温出芽については過度な高温をさけ、出芽期間は２日以内に止めてください。
○根上がりが発生した場合には、直ちに灌水して覆土を落ち着かせ、再覆土を行なってください。
⑦イネシンガレセンチュウに対しては種籾の汚染密度が高い場合には効果不足になる場合があるので、シンガレセンチュウ防除剤との併用をおすすめします。
⑧水産動植物への影響をさけるため河川、湖沼、ため池などで浸種しないでください。

●麦類の種子消毒に使用する場合は下記の事項に注意してください。
①種子浸漬はは種前に行い、消毒後は水洗いせず、自然乾燥後、は種してください。
②浸漬処理の場合、薬液の温度は極端な低温をさけてください。
③浸漬処理の場合、薬液と種子の容量比は１：１以上とし、種子はサラン網などの目のあらい袋を用い薬液処理時によくゆすってください。
④種子粉衣はは種前に湿粉衣により行い、自然乾燥後、は種してください。
●ばれいしょの種いも消毒に使用する場合は下記の事項に注意してください。
①萌芽後や種いも切断後の処理は薬害を生じるおそれがあるのでさけ、萌芽前に種いもを切断せずに処理してください。
②浸漬時間が長くなったり、高濃度に浸漬すると薬害が生じやすいので、所定の浸漬時間及び希釈倍数を厳守してください。
③薬剤処理した種いもは、直射日光をさけ、風通しのよい場所で速やかに乾燥させてください。
④種いもを切断する場合は、処理した薬液が十分乾いてから行ってください。
●使用後の薬液は回収し適切に処理してください。また容器等の洗浄液は池や川等に流さず、流入のおそれのない場所を選んで適切に処理してください。
●薬剤処理した種子、種いもは、食糧、飼料に使用しないよう注意してください。
●本剤の使用に当っては、希釈倍数、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

●粉末及び希釈液が衣服や皮膚に付着すると色が付き落ちにくい場合があるので、衣服や皮膚に付着しないよう注意してください。
●粉末は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
●粉末は皮膚に対して刺激性があるので、浸漬液調製時には不浸透性手袋を着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。

水産動植物に係る注意事項

●水産動植物（魚類、甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、容器の洗浄水等は河川等に流さず適切に処理してください。
●浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

●直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。